



かんちゃん

第 65 号

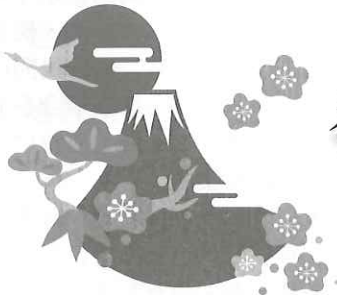
発行
平成29年1月15日

東京局間連会報

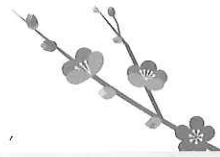
発行者/東京国税局間税会連合会
会長 片岡直公
事務局/〒105-0003 東京都港区
西新橋3-23-6 白川ビル3F
TEL (03) 3437-0201
FAX (03) 3437-0301
印刷/株式会社 総北海



しょうちゃん



新年のご挨拶



東京国税局間税会連合会
会長 片岡直公



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、旧年中、当連合会の運営につきまして、格別のご尽力を賜り、ありがとうございました。

また、国税ご当局の皆様には、当連合会に対しまして、深いご理解と多大なご支援を賜り、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

昨年は、特に4月中旬に発生した震度7の熊本地震により、多くの方々が被害等を受けられました。被害等に遭われた方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

一方、我が国を取り巻く世界情勢を見ますと、米国の次期大統領に保護主義的な立場を取るドナルド・トランプ氏が選任されたことや、英国のEUからの離脱決定など世界情勢の流動化により、我が国の外交面や経済面等への影響が懸念されるため、安倍政権には、国益にかなった「カジ取り」を強く期待しております。

さて、間税会に関わりの深い消費税につきましては、平成26年4月から税率が5%から8%に引き上げられるとともに、平成31年10月1日からは税率の10%への再引上げと軽減税率制度の導入が予定されております。全間連では、今後の消費税率の引上げに伴い、消費税の会である間税会の役割も、益々、高まってくることを踏まえ、平成26年4月以降の最重点施策を3点決定しました。

一点目が「消費税完納運動の更なる推進」であり、二点目が「消費税の啓発活動等の拡充」であり、三点目がこれらの会活動を積極的に展開すること等により「会員増強による組織拡大等」を図ろうというものであります。

このような全間連の方針の下、当連合会は、全間連の中核として、極めて重要な役割を担っていることから、組織面・活動面において各局間連のリード役を果たすことが強く期待されております。

そのような観点から、平成26年度及び平成27年度におきましては、特に会員増強について数値目標を設定し積極的な取組みを展開してきた結果、数値目標には届かなかったものの、この2年間で約2,200人社の増員を図る

ことができました。これも会員の皆様のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

そして、平成28年度は3年目となる最終年度でありますので、数値目標の達成に向けた組織増強に、より一層のご尽力をお願い申し上げます。

また、税の啓発と租税教育推進の観点から、全間連が募集しております「税の標語」につきましては、引き続き東京国税局のご後援をいただきましたこともあって、平成28年度の当連合会管内からの応募点数は、前年度より約6千点多い約16万9千点の応募があり、全国の応募点数の概ね半分を占めております。会員の皆様の積極的な取組みに感謝を申し上げますとともに、引き続き、積極的な募集活動と活用をお願いいたします。

加えて、間税会の存在をPRし、かつ、世界の消費税(付加価値税)の実情を知っていただく上で、非常に効果的な「世界の消費税」図柄刷込みクリアファイルにつきましては、全国の作成枚数の半分強を当連合会で作成していることや、平成28年度では約11万枚増刷したことを踏まえ、クリアファイルの有効活用と配布活動の拡充に努めていただいているものと思っております。

また、e-Taxの利用促進や、本年から本格実施されましたマイナンバー制度の適正利用と周知活動にもご尽力をお願いいたします。

なお、国税ご当局から示されている、税務関係民間団体との一層の連携・協調を図るとの方針を踏まえ、各種活動の実施に当たっては、国税ご当局と前広に協議・相談しながら、効果的かつ実効性のある取組みをお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄、都連・各県連及び傘下間税会並びに業種団体の方々のご発展を祈念しております。

また、国税ご当局の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたしますとともに、当連合会及び傘下団体の運営につきまして、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

消費税 活かすみんなの 間税会

年頭のあいさつ

東京国税局長

岡田 則之



新年あけましておめでとうございます。

平成29年の年頭に当たり謹んでお祝いを申し上げます。

東京国税局間税会連合会の皆様には、平素から税務行政に対しまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年一年間を振り返りますと、日本経済は、アベノミクスの取組の下、雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復が続く一年間でした。

また、スポーツに目を向けますと、リオデジャネイロオリンピックが開催され、日本勢の活躍により、前回のロンドンオリンピックを上回る金メダル12個を含む41個と過去最高のメダル数を獲得し、国民に夢と希望を与えてくれる明るいニュースもありました。

東京国税局間税会連合会におかれましては、全国間税会総連合会の中核として、消費税を始めとする税知識の普及と納税道義の高揚を図るための各種事業を推進していただいております。

全国間税会総連合会の最重点施策の一つである「消費税の啓発活動等の拡充」を踏まえ、傘下間税会において作成した「世界の消費税151カ国」のクリアファイルの解説を行った租税教室用のDVD等を、全国の間税会に展開されたほか、昨年11月の「税を考える週間」におきましては、街頭広報活動や、「消費税完納運動」などのキャンペーン等にも御尽力いただきました。

また、「税の標語」の募集活動につきましては、東京国税局間税会連合会では、昨年を上回る16万9千点の応募となりました。これも各単位会の役員の方々が先頭に立って、地域の教育機関等を通じて、積極的な募集活動に取り組んでいただいた結果であります。

これらの熱意ある積極的な会活動に対しまして、片岡会長を始めとする役員及び会員の皆様に、改めて深く敬意を表する次第でございます。

私どもといたしましても、「税の標語」の募集活動につきまして、引き続き、東京国税局として後援させていただくほか、研修会等への積極的な講師派遣など、間税会の活動に関して、できる限りの支援をさせていただく所存であります。

さて、私ども国税組織に課された使命は、国の活動を支える歳入を確保するために、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことでもあります。この使命を国民の皆様からの理解と信頼の下、果たしていかなければなりません。

そのためには、納税者利便の向上に向けた様々な取組を進める一方で、適正・公平な賦課徴収の観点から、善良な納税者が損をすることのないよう悪質な納税者には厳正な態度で臨むということが重要であり、これが全て

の基本であります。

このような状況を踏まえ、e-TaxなどICTを活用して、納税者にとって利便性の高い申告・納付手段の充実など納税者サービスの向上に努めるとともに、制度改正への対応に適切に取り組んでおります。

「社会保障・税番号制度」については、本年1月から、所得税等の申告書や法定調書等の税務関係書類への番号記載が本格化することになります。社会保障・税番号制度を着実に定着させるため、引き続き、関係民間団体の皆様と連携・協調を図りながら、あらゆる機会を通じて納税者に対して番号記載等の更なる周知・広報に一層取り組んでいきたいと考えております。

また、消費税率の引上げ時期及び軽減税率制度の実施時期を延期する法案が、平成28年11月28日に公布されましたが、執行当局である私どもといたしましては、制度の円滑な実施に向け、適切に取り組んでまいりたいと考えております。

年も明けて、間もなく確定申告の時期を迎えますが、確定申告事務を円滑に行うことは、税務行政に対する信頼と評価を得る上で極めて重要であると考えております。

なお、確定申告期は、多数の納税者の皆様と接する時期であることから、納税者サービスの向上並びに自宅等からのICTを利用した申告の一層の推進を図るとともに、円滑かつ確実な事務処理や期限内収納の確保に取り組むこととしております。

また、平成27年分の確定申告期におきまして、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」やe-TaxなどICTを利用して所得税の確定申告をされた方は、申告者全体の実に58%（全国1,260万人）に上りました。

「確定申告書等作成コーナー」を利用していただくことで、計算誤りのない申告を行うことができますので、是非御利用いただきたいと思います。

ところで、本年は「丁酉（ひのととり）」の年です。「丁酉」の言葉の謂（いわれ）を調べてみますと、「丁」という文字は、釘を形取ったものであり、そこから「安定する」という意味を持っているそうです。また、「酉」という文字は「黍が成熟して醸す」ことから転じて「成就する」ということを表しているとされているそうです。

この一年間、この謂に倣い、様々な課題に取り組み、「適正・公平な賦課徴収の実現」の成就に向けて、国民の皆様から更に信頼される税務行政を行っていきたく思います。

そのためにも、税の良き理解者として活発な事業活動を続けておられる東京国税局間税会連合会の皆様の御協力・御支援が不可欠でございます。当局といたしましても、これまで以上に皆様との連携・協調を密にしていこうとしておりますので、今後とも、税務行政に対しまして、より一層の御理解と御協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、新しい年が皆様にとってますます御多幸でありますよう心から祈念して、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成28年度「税の標語」優秀作品決まる

全間連が平成5年度から実施している「税の標語」の募集活動については、第24回目となる平成28年度においても、一般財団法人大蔵財務協会の後援の下に昨年9月10日を募集期限として、間税会会員、その家族や知人などのほか、小・中学校及び高等学校を通じてその生徒、さらには、インターネットにより広く一般の方を対象にして募集した結果、全国では、346,886点にのぼる多数の応募がありました。

このうち東京局間連の方々からの応募は、東京国税局の後援をいただいていることもあって昨年度を6,001点上回る168,523点と全国の概ね半分を占めています。

この応募作品については、広報委員を中心とした選考委員会における厳正な審査を経て、最優秀作品1点、優秀作品4点、佳作11点、合計16点の優秀作品が決まりました。

「税の標語」の発表会と表彰式は、「税を考える週間」中の昨年11月14日（月）に、全間連の表彰式にあわせて、東京・築地 松竹株式会社（大谷全間連会長の会社）において行われ、最優秀作品の山之上颯様（町田市立堺中学校）の代理人・山之上美枝子（母親）様に、片岡会長から表彰状と記念品が贈られました。

なお、全間連の優秀作品16点の中にも、東京局間連関係者の作品4点が含まれています。（全間連の優秀作品は、全間連会報第138号及び全間連のホームページに掲載されています。）



最優秀者代理人 山之上美枝子様



税知識 正しく学んで きちんと納税

町田市立堺中学校 **山之上 颯**

教育に 医療に福祉に使われる 身近な税の大切さ

世田谷区立松沢中学校 **小川 祐**

安心を 未来につなげ 子育てと 老後を支える 消費税

大田区立新宿小学校 **奥山 瑠**

社会保障 支える財源 消費税

大成高等学校 **木下 雄太**

税金の 標語を考え 税を知る

杉並区立井草中学校 **鷓野 賢**



消費税 小さい金額 大きな貢献
荒川区立諏訪台中学校 **片倉 美南**

子や孫の未来を支える消費税
練馬区立関中学校 **加藤 知奈**

学ぼうよ 日本を支える税のこと
つなげていこう日本の未来へ
足立区立第十中学校 **駒木 莉子**

この国の 未来にいかそう 消費税
平塚市立春日野中学校 **五郎丸 圭太**

消費税 しっかり納めて 豊かな未来
北杜市立小淵沢小学校 **坂口 七海**

税金を 正しく 知って 正しく納税
九十九里町立片貝小学校 **棚橋 さくら**

消費税 みんなで納めて 大きな力
墨田区立錦糸中学校 **中島 ゆり**

納税は 社会を支える 第一歩
西東京市立田無第四中学校 **浜田 波也斗**

明日のため みんなで担う 消費税
東京都立第一商業高等学校 **山形 真尋**

知るだけで 視野が広がる 税知識
文京区立第六中学校 **若林 里紗**

役に立つ 税のしくみを 知る授業
東京学芸大学附属世田谷中学校 **和田 恵都**

税務署(一部)の閉庁日における確定申告の相談等の実施

税務署は、土・日及び祝日は閉庁されていて業務を行っていませんが、平成28年分の確定申告期間中は、平日（月～金）以外でも、2月19日及び26日の日曜日に限り、一部の税務署においては確定申告書用紙の配付、申告相談、確定申告書の收受及び納付相談が行われます。

税務署によっては、合同会場（対象署の納税者の申告相談及び確定申告書の收受が行われます。）において行うところがありますので、詳しくは所轄の税務署に確認してください。

第34回 青年部・女性部 合同講演会 開催される

第34回青年部・女性部合同講演会は、昨年9月28日（水）午後1時30分から、荒川区東日暮里 日暮里サニーホールにおいて、青年部・女性部を中心として約350名の方々が参加して開催されました。

第1部は、財務省主税局大臣官房企画官 梶野友樹様に「税制の現状と課題」という演題で現在日本の税制が置かれている状況等について話がありました。

第2部は、ブリキのおもちゃ博物館館長 北原照久様に「夢の実現」～北原流ツキの10ヶ条～という演題で「人生は勇気と自信をもって努力すれば切り開いて行ける。」という素晴らしい話が聞けました。



北原照久様

常任理事会 開催される

昨年10月26日（水）東京・日本橋 ㈱全日警会議室において、東京国税局藤田消費税課長及び河原消費税課長補佐の出席を得て、常任理事会が開催されました。

常任理事会においては、本年6月8日（木）に開催される予定の東京局間連第44回通常総会及び本年9月22日（金）に開催予定の全間連第44回通常総会の日程確認、組織増強月間等における会員増強等への取組みについて、「世界の消費税」図柄刷込みクリアファイルの活用について、「税の標語」の応募状況等について報告、審議が行われました。



常任理事会 会長挨拶

平成28年度

税を考える週間

麹町間税会

— 税金クイズと「税の標語」展示 —

11月4日（金）東京駅前の丸ビル1階マルキューブ広場にて、「税の標語」の優秀作品（管内の小中高等学校からの応募）18点を掲示するとともに、税金クイズ及び「世界の消費税」クリアファイル等の配布を行いました。

今回の特徴として一般男性の方が多く立ち寄って下さったこと、税金に関しての細かな質問が例年より多かったように思います。

今後もより多くの方が税金に関心を持っていただけるよう頑張っていくものです。



神田間税会

— 「税の標語」等の掲示 —

11月9日（水）JR御茶ノ水駅改札前に「税の標語」及び消費税完納推進運動の一環として「納税貯蓄組合連合会の作文」（本年はじめて）と並べて掲示したところ、より多くの人々の目にとまりました。

なお、作品は都営地下鉄神保町駅と小川町駅にも掲示して、間税会のPRに大いに貢献しました。



京橋間税会

— 歌舞伎座で —

11月11日（金）歌舞伎座地下2階通路にて、「税を考える週間」行事として「世界の消費税」クリアファイル・e-Tax広報紙・ハンカチ等の配布活動を行いました。

間税会役員をはじめ、大塚京橋税務署長及び署幹部の方々、それにイータ君も加わり大人数で配布活動を行ったために、30分間で終わってしまいましたが、往来する多くの方々に税の啓発活動を行いました。



芝間税会

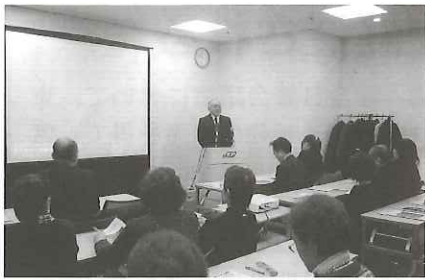
— 贈与税の研修会 —

11月29日(火)帝国劇場の貸会議室において、芝税務署担当官による「贈与税」の研修会を行い、出席者からは興味深く熱心な質疑が行われ有意義な研修会となりました。

また、「世界の消費税」に関するDVDも視聴し、署消費税担当官に解説をしていただきました。

その後、出光美術館を見学し、日比谷公園を散策、園内の松本楼で懇親会を行いました。

穏やかな雰囲気の中で楽しい会話が交わされ、税の研修とあわせて会員相互の懇親も深めることができました。



麻布間税会

— 麻布十番納涼まつり —

8月27日(土)麻布十番納涼まつりで、骨董店「はせべや」の店頭を借用して活動をしました。

女性部長の指示のもと、約400枚の「世界の消費税」クリアファイル等をレジ袋に入れる作業は、あっという間に完了し、配布活動を開始する頃には当初降っていた雨も上がり、会員、麻布税務署長及び幹部の方も参加され配布活動を行い、税と間税会の街頭広報活動は無事終了しました。



狹窪間税会

— 杉並納税街頭キャンペーン —

10月30日(日)、第8回杉並納税街頭キャンペーンが開催されました。「税を考える週間」にあわせて行われるパレードは、杉並区役所前でのセレモニーの後、都税事務所前を出

発しました。日本大学鶴ヶ丘高等学校吹奏楽部の華やかなマーチングバンドが、沿道の観客たちの声援を受けながら1時間かけて杉並公会堂までを行進しました。この間、田中杉並区長をはじめ主催する団体長らが道ゆく人たちに納税意識の高揚を呼び掛けました。「世界の消費税」クリアファイルを配布し、数千枚が瞬く間になくなったことに関係者一同、キャンペーンの成功に確かな手応えを感じました。



練馬東間税会

— 3回目のクリアファイル配布活動 —

11月16日(水)西武池袋線練馬駅前「世界の消費税」クリアファイルの配布活動を行いました。

近藤練馬東税務署長及び幹部の方々等の参加をいただき、総勢22名で配布しますと、僅か30分足らずで配布終了となりました。

「消費税、それを支払うのが大変なんだよ」「このクリアファイルいくら、消費税入っているの」等々、真剣に税について質問される方もいて盛り上がり、活動している私達まで勉強させられました。

「間税会、消費税について考える会」が活動を重ね、定着することによって益々輪が広がり、皆様により深く理解していただけるよう頑張りたいと思いました。



練馬西間税会

— 照姫まつりに参加し税金クイズでPR —

5月29日(日)、第29回照姫まつりが石神井公園にて開催され、今年も小学生を対象に税金クイズを実施しました。谷口練馬西税務署副署長他幹部の方々に激励いただきました。ブースの飾りつけと「税金クイズ」の賞品にバルーン(風船)を取り入れ、色とりどりのバルーンで飾られたブースの前には10時の開会とともに多くの子供たちが集まりました。参加した子供たちはクイズを通じて「学校」「消防署」「公園」といった身近な建物が税金により建てられていることを知り、税金が自分たちの暮らしに役立っていることを知ってもらう良い機会となりました。税金クイズに参加し、全問正解した参加者には賞品として動物のバルーンアートが渡され、用意した500個の賞品は予定時間より早く終了する盛況ぶりでした。



荒川間税会

— 消費税完納宣言 —

11月9日(水)JR日暮里駅前歩道において、「税を考える週間」行事の一環として、「消費税完納宣言」確定申告書の早期提出キャンペーンを実施しました。

東京国税局藤田消費税課長、柳都税事務所長、久保荒川税務署長ほか幹部及び会員で「マイナンバー制度の最新情報」「納税証明書のオンライン請求」のチラシと「世界の消費税」クリアファイルを配布し、国税当局との連携協調を一層深めました。



2016.11.09

NPO法人西新井間税会

— 大パレード —

10月16日(日)秋晴れの素晴らしい日に、西新井大師境内及び参道において「税を考える週間」広報活動を行いました。

主催は西新井納税協力6団体で西新井税務署、優申会、彰友会、東京都、足立区から後援していただきました。

まず、足立区立第14中学校吹奏楽部によるイベントコンサート、次に玉ノ井部屋力士による税金クイズ、最後に同吹奏楽部の演奏と先導で西新井大師境内を主催団体及び後援団体がパレードを賑やかに行いました。



葛飾間税会

— 葛飾区産業フェア —

10月14日(金)から16日(日)まで、テクノプラザかつしか及び東京都城東地域中小企業振興センターを会場に「第32回葛飾区産業フェア」が開催されました。

このイベントは入場者数87,000人という葛飾区でも最大級の行事です。

この行事に葛飾税務署恒例の「税金クイズ」が行われ、記念品(「世界の消費税」クリアファイル6,000枚とボールペン)を差し上げるお手伝いを税務関係団体で行いました。

当会は10月15日(土)午後の部を担当しました。出題内容は資料を正確に読まなければ回答できないものが多く、大人・子供へも相当な租税教育効果があったと思われます。



東村山間税会

— 事業所見学会 —

10月27日(木)秋の研修「事業所見学と署長講演会」を陸上自衛隊小平学校において開催しました。

まず、DVDにより自衛隊の果たす役割の説明を受け、その重要性を再確認しました。

次に、高須東村山税務署長から「暮らしと税～所得税・相続税の基礎知識、最近の税制改正等」と題した講演をいただき有意義な研修会となりました。



横浜南間税会

— ダーツゲームで税の種類を学ぶ —

10月15日(土)横浜市「海の公園」にて毎年開催される「金沢まつり」に参加しました。この「金沢まつり」は地域の住民が中心に毎年15万人くらいの人が集まる地元では大きなイベントです。

磁石のついたダーツを投げて、各種税目書かれたマスターゲットに、うまく的に入れば景品を贈呈するといった楽しいゲームです。今年は「マイナンバー」が大当たりでした。

来場者は簡単なアンケートに答えると、このゲームに参加することができ、上手に的に入れば、お花の鉢植えを差し上げました。

このイベントを当会では14年前から毎年行っており、「世界の消費税」クリアファイルの配布はもとより、アンケートには間税会に関する質問もあり、間税会をご存じですか? という質問には、去年は約33%の方が「知っている」と回答しております。こういった事業を続けることで、年々、地域住民に間税会の認知度が上がってきているのがわかりました。



千葉西間税会

— アメフト選手とともに —

11月16日(水)千葉西税務署・千葉西税務懇和会・習志野市商工会議所の共催のもと、社会人アメリカンフットボール「Xリーグ」で活躍中の、地元習志野市を本拠地とするオービックシーガルズの協力をいただき、主力選手ケビン・ジャクソンに広報大使をお願いしました。当日は千葉西税務署にて任命式を行い、その後JR津田沼駅にて、「世界の消費税」クリアファイルや、税に関わるリーフレット等を一般の方々に配布しました。

また、当日は千葉日報など報道関係者も多数お越しになり幅広い街頭広報活動を実施しました。



松戸間税会

— 「税の標語」の表彰式 —

11月16日(水)松戸税務署主催の納税表彰式式典後の会場を借用して、「税の標語」優秀作品を顕彰しました。

これは、28年2月の理事会で平成28年度も「税の標語」の募集を行うことが決定され、管内3市(松戸市、流山市、鎌ヶ谷市)の中学1年生から5,503点の作品の応募をいただいたものです。市長、教育長、国税局の後援をいただき、また、学校の先生方の格別な支援があって成し遂げられました。

税を身近に感じてもらうと始めた事業ですので、多くの生徒に感じてもらうため全間連、局間連、県間連を含め134名の生徒に賞状、副賞、記念品を贈りました。

また、これらの優秀作品は3市の広報紙に後日掲載されることになっています。



平成28年度 中学生の「税の標語」入賞記念 平成28年11月16日 於 松戸市民劇場

佐原間税会

— 税の啓発看板設置 —

「税を考える週間」を前に、国道296号線沿い(香取郡多古町染井地先)に念願の二つ目の立て看板を設置し除幕式を行いました。

一面は、「暮らしを支える 税を学ぼう」香取郡市租税教育推進協議会

もう一面は、「消費税 活かす みんなの間税会」佐原間税会

と2団体の看板設置の趣旨でもある「生活と税との関わりを理解し、納税意識の向上」「税知識の普及や租税教育活動の推進」を掲げ、納税道義を育むための方法として活かされることが大切であると新たに認識しました。

除幕式には、東京国税局藤田消費税課長、野口佐原税務署長、山田佐原税務懇話会会長等多くの関係者が出席し、厳かに式典が行われ「税務団体の新しいカタチ」へ、更に一步踏み出しました。



館山間税会

— 市役所庁舎に懸垂幕 —

中学生から募集した「税の標語」の優秀作品全23点を11月11日よりJR館山駅構内の市民ギャラリーにて、11月19日よりイオンタウン館山、イオン鴨川店にて展示しました。

最優秀賞である「安房地域租税教育推進協議会会長賞」を受賞された鴨川市立安房東中学校の石井さんの標語「消費税 活かして創る 日本の未来」を縦8メートルの懸垂幕にして、11月11日よりJR館山駅前ビルにて、11月22日より鴨川市役所庁舎にて掲示しました。

また、11月25日には入賞された17名の生徒を迎えて館山市内法青会館



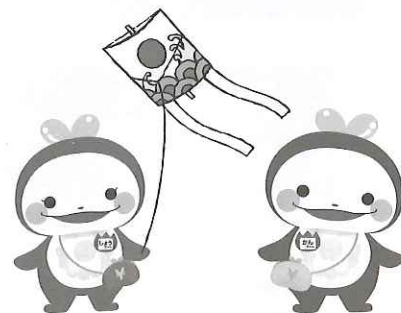
にて「税の標語」表彰式を開催、田中館山税務署長よりご祝辞をいただき、田中署長、宮澤会長から入賞者に賞状と記念品を贈呈しました。

大月間税会

— 中学生税金弁論大会 —

11月11日(金)大月税務署管内租税推進協議会主催による「第31回中学生による税金弁論大会」に関係民間団体として協賛参加しました。

開催会場となった西桂中学校に「世界の消費税」クリアファイル180部を贈呈し、次代を担う中学生に消費税に関する啓発を行いました。



東京局間連の主な動き (28.9.15~29.1.12)

9月15日(木)	局間連会報第64号発行	
9月27日(火)	神奈川県揮発油税務懇話会総会	横浜
9月28日(水)	青年部・女性部合同講演会	日暮里
10月3日(月)	税制委員会	事務局
10月5日(水)	広報委員会	事務局
10月12日(水)	会務運営委員会	事務局
10月14日(金)	財務委員会	事務局
10月17日(月)	「税の標語」最終選考会	事務局
10月19日(水)	総務委員会	事務局
10月21日(金)	企画会議	事務局
10月26日(水)	正副会長専門委員長会議・常任理事会	日本橋
11月1日(火)	東京国税局長納税表彰式	大手町
11月14日(月)	「税の標語」最優秀作品発表・表彰式	築地
11月29日(火)	広報小委員会	事務局
1月12日(木)	企画会議	事務局

国税局幹部との意見交換会の開催

昨年、都連・県連ごとに、東京国税局課税第二部の幹部と間税会会長等との意見交換会が下記のとおり開催されました。

意見交換会のテーマは①「税の標語」の募集と優秀作品の表彰等について、②「税を考える週間」行事への取組みについて、③全間連の最重点施策に関する取組みについて、④e-Taxの周知及び利用促進への取組みについて、⑤その他の行事等への取組みについて、に関して活発な意見交換が行われました。

ブロックごとの意見交換会の開催日

10月6日(木)	神奈川県連
10月11日(火)	東京都連
10月13日(木)	山梨県連
10月24日(月)	千葉県連